

## (様式 1 - 表)

## 令和 7 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	111	豊田市立 松平中 学校	代表	松井 幹宗
------	-----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域を愛し、地域と共に心豊かに育つ松中生	分野	b	地域連携
	サブテーマ 地域特産の椎茸栽培を通して	[(その他) は分野を右欄に記入]		
学校づくりの視点（ねらい）	<p>・松平地区の特産品である椎茸の栽培を1年生の技術・家庭科と特別支援学級の授業と連携して行う。椎茸菌床栽培業者の協力をいただき、椎茸ハウスを使って栽培・収穫を行い、各家庭で調理して食べることを通して地産地消の良さを理解したり広めたりする中で、心豊かな生徒の育成を目指す。</p> <p>・松平中学校は、緑豊かな環境であるので、その整備には時間と労力を要する。校内生活において、安全で安心できる環境づくりは不可欠である。校内整備員の力を借り、今後も環境整備に努めたい。</p>			
活動内容・計画	<p>・椎茸栽培 5月～6月授業（1年生の技術・家庭科科と特別支援学級）で、椎茸の栽培方法について学ぶ 7月～11月 栽培・観察 10月～12月 収穫</p>			
補助員配置	校内整備員・・・週12時間、校内環境整備を行う。本校は山林に囲まれ雑草や雑木が多く、体育や部活動に支障がないように計画的に環境整備を進める。			
実績・期待される効果	<p>・椎茸栽培を通して、椎茸が松平地区のすばらしい特産品であることや地域の良さを実感することができる。</p> <p>・環境面を整えることにより、安全で安心できる学校生活を送ることができる。また、敷地内の草刈りを行うことで、近隣住民への配慮もできる。</p>			
検証方法	<p>・学校運営協議会や保護者による学校評価を通して、子どもたちの成長や職員の取組の客観的評価を得る。また、コミュニティ・スクール連絡会議等の地域との会合において、地域の意見を得る。さらに、生徒の成長や学んだことを生活に役立たせている様子等で検証する。</p> <p>・どの子どもも安心して学校生活を送っているか。また、教育相談コーディネーター、教育相談主任、学年主任、担任を中心に、全校体制で生徒達を見守っていく中で検証する。</p> <p>・全教職員による学校自己評価や校内の企画委員会、運営委員会等の各委員会で検証する。</p>			